

松本系魚川連絡道路 大町市街地区間 地区説明会 質疑応答要旨

令和7年12月8日(月) 18時30分～20時15分

場所: 泉公民館、対象自治会: 泉、松原団地

○質問1

橋脚のスパンはどれくらいになるのか。また、橋梁の下は日が当たらなくなると思うが、補償などはあるのか。

●回答1-1(設計コンサル)

今後設計で決まっていくが、現時点では30m程度を想定している。

●回答1-2(大町建設事務所)

橋脚の有無に関わらず、橋梁区間下の用地は買収する。

○質問2

説明資料には期待される主な効果があるが、デメリットが載っていないため、資料に載せてほしい。

●回答2(大町建設事務所)

今の住環境から比べると騒音、振動等の住環境への影響は避けられない。また、今見えている景観が阻害されることもデメリットだと考えている。

○質問3

除雪の作業時は、道路の外側に雪が来ると思うが、その対応策・考え方を教えてほしい。

●回答3(大町建設事務所)

除雪作業時の堆雪幅として、過去の降・積雪深さ等から計算した必要な路肩幅を両側に1.5m確保している。そのため、ロータリー車等で道路外へ雪を飛ばすことは、基本的にないと考えている。

○質問4

国道147号北ハーフICについて、盛土構造となっているが、橋梁にすれば周りへの影響範囲が減るのではないか。

●回答4(大町建設事務所)

直壁の擁壁等にすれば、盛土の部分が狭くなり影響範囲を抑えることは可能だと考えられる。そのような観点からも地域の皆様のご意見をお聞きしながら、今後詰めていきたいと考えている。現時点では盛土構造の影響範囲を示している。

○質問5

高瀬川に新たに架かる橋の右岸側、盛土終点部西側の三叉路について、盛土の形状次第では見通しが悪くなるが、盛土はどのような形になるのか。

●回答5(大町建設事務所)

三差路より先は霞提の排水区域となるため、三差路手前で盛土を止める計画となる。3次元モデルで見通しの確認もしながら、今後の設計の中で対応したい。

○質問6

計画道路に家がかかっているが、個人への補償に関する具体的な時期を教えてください。

●回答6(大町建設事務所)

複数回説明会をして関係者の合意形成を図りながら、都市計画決定の手続きを進め、事業化したいと考えている。今後も説明会等を実施して様々な意見をいただく中で、どのような意見が出るかわからないことから、事業化まで時間がかかることが考えられるため、現時点で具体的な時期は答えできない。安曇野建設事務所が進める安曇野道路を例にすると、令和4年度に事業化され令和7年度から用地補償に着手しているため、大町市街地区間の場合においても事業化されてから3～5年かかることが想定される。

○質問7(意見のみ)

松糸道路の計画自体に問題があると考えている。15,000 台かつ大型車両の通行が増えると騒音等の影響がある。現在のルートは住宅地を通過しており、家がつぶされたり、景観が悪くなったりすることから、まだまだ検討すべきことがあると思う。最適なルートではないと思う。沿線に残る人は終の棲家と考えていた家の子や孫へ引き継げないといった不安もある。地域の皆さんにも考えていただきたい。意見であり、回答はいらない。

○質問8

3D モデルでの見え方の確認について、個別相談の時間ではなく、スクリーンに映して、該当地区からの周辺の見え方や景観が阻害される様子をみんなで共有できるようにしてほしい。ある程度共有した後で、個別相談で確認する形にしてほしい。

●回答8(大町建設事務所)

(スクリーンにて 3D モデルを投影し、該当地区周辺の見え方を説明。)